

2026年春休み

今しかない！あなたが作る春休み

春のアカデミックホームステイ

新たなスタートを切るとき、人はこう思う。

「何かを変えたい、自分が変わりたい、世界観を変えたい」

そう思うあなたのために、このホームステイがある。

自分の目で見て、自分の肌で触れて、自分が体験する。

ほんの少し勇気を持って踏み出す一步が、あなたの未来へと繋がる。

詳細は資料編をご覧ください

研修企画 南日本カルチャーセンター

お問い合わせ・お申し込み先

オンライン説明会 ZOOMにて開催

日時 2025年11月24日(月・祝)
12月7日(日)/12月21日(日)

2026年 1月18日(日)

〈午前の部〉9:30～12:00

〈午後の部〉13:30～16:00

ZOOMミーティングID: 940 412 0761

パスコード: mncc1234



(株)南日本カルチャーセンター

〒890-0056 鹿児島市下荒田3丁目16番19号

TEL 099 (257) 4333 (代表)

FAX 099 (250) 0321

ホームページ www.mncc.jp

観光庁長官登録旅行業第1355号 (社)日本旅行業協会正会員

総合旅行業務取扱管理者 濱田逸平

営業時間 平日 9:00～17:00 土日祝 休み

お問い合わせ専用フリーダイヤル: 0120-212122

募 集 内 容

研修目的

若い年代のうちに異文化を体験することほど価値のあることはありません。日本と異なる言語、文化、生活習慣、価値観をもつアメリカにおいて、言葉と心のふれあいにより、相互理解を深めることで、異なる価値を受け入れ、世界標準というものの考え方のできる人材育成を目的としています。

研修の特色

- 教育的なプログラムである。
- 事前研修会（オリエンテーション）が充実している。
- 期間中の様子をセンターのホームページ上で公開する。

研修参加資格

- 日本国籍を有する中学生、高校生、大学生
- 主体的に行動し、異文化を学ぶ姿勢のあること
- 心身健康で、自分の身の回りのことを一人でできること（詳細は資料編参照のこと）
- 参加者・保護者共にプログラムの趣旨を理解できること
- センターからの指示・決定事項を遵守できること
- 携帯電話を持って行かないこと

研修期間 2026年3月26日～4月4日(10日間)

研修費用

- 618,000円（熊本空港発着料金）
- 618,000円（鹿児島空港発着料金）

募集定員 25人（最少催行人員10人）

ホームステイ地 アメリカ合衆国(西海岸の郊外都市)

申込締切日

2026年1月30日(金)(但し、定員になり次第、締め切ります。)

利用航空会社

日本航空、全日空、ユナイテッド航空、大韓航空、デルタ航空、エバー航空、中華航空、アジアナ航空、エアカナダ、アメリカン航空、アラスカ航空、スターラックス航空

研修費用の範囲

◆研修費用に含まれるもの

1. 日本から米国までの往復航空運賃エコノミークラス
2. 集合から解散までに発生する団体行動中の交通費用一切
3. 米国受入機関の運営費用及び準備費用
4. 期間中に計画されたプログラムの入場料、施設使用料などの活動費一切
5. 往復の旅程中に発生する宿泊費用（食事代は除く）
6. オリエンテーション費用
7. ガイドブックなどの学習資料・配布物の諸経費

8. 引率指導者同行費用

※家庭内での食事と宿泊はホストファミリーの好意により提供されます。
※上記内容の一部を利用されなかった場合でも、当該費用の一部を返金することはありません。

◆研修費用に含まれないもの

1. 米国税関申告書作成料、携帯品・別送品申告書作成料、電子渡航認証システム（ESTA）代理申告手数料や有効性確認などの費用9,000円
2. ESTA申請料40ドル（有効なESTAの所有が確認された場合は必要ありません。）
3. パスポート印紙代（所持者は不要）
5年旅券…11,300円、10年旅券…16,300円
4. 米国出入国通行税、入国審査料、税関審査料、検疫使用料、米国保安料、空港施設使用料
約9,000円
5. 国内空港施設使用料や旅客保安サービス料、航空保険特別料金、空港税、国際観光旅客税など
約8,500円
6. 燃油サーチャージ料
約46,590円（2025年11月1日時点の目安）
7. 超過航空受託手荷物料金
8. 任意の海外旅行傷害保険料
9. 個人的なお小遣い
10. 犬、猫などのペットがいない家庭を希望する方の追加料金15,000円（該当者のみ）

※上記パスポート印紙代は、窓口申請時の料金です。オンライン申請の場合、5年旅券、10年旅券共に、上記料金から400円下がります。

※天候などの当社の関与し得ない事由のため、当初のスケジュールと異なり、ホテルに宿泊しなければならない場合は、宿泊費や食費が別途必要になる場合があります。

※燃油サーチャージ料は、燃油原価の高騰に伴い、航空会社が国土交通省に申請し、認可されたもので、航空運賃とは異なる付加的な運賃であり、区間や航空会社により異なり、一時的なものとして流動的に実施されております。

研修管理

添乗員は同行しませんが、引率指導者が国際線出発空港から同行します。期間中は常に、センター本社と連絡を取り合います。

為替変動による研修費用の変更について

このプログラムは、2025年10月20日時点の航空運賃、料金を基準として、研修費用の算出が行われております。研修費用は、航空運賃の改定や円ドル為替相場の変動に伴い、その変更が起こることがあります。資料編の「その他のプログラム条件」で明記されていますように、航空運賃の大幅な改定があった場合は、その増額、減額分が研修費用に反映されます。また、円ドルの為替相場は変動相場制ですので、その価格変動は常に起きておりますが、それを反映させることは現実的ではありません。そこで、このプログラムにおきましては、2026年3月20日の円ドル為替相場のTTSレートを基準値とし、その日の同レートが1ドル160円以上の場合や、140円以下の場合、研修費用を再検討し、研修費用の増額、もしくは減額を行う場合があります。

研 修 内 容

☐ 授 業

平日の午前中9時から12時までの3時間、アカデミックセンターで、現地教師による全て英語での授業が行われます。カリキュラムはテキストが使われ、アメリカの生活習慣や家庭生活について学習し、市民生活や生活習慣、文化などを幅広く学習します。

☐ 社会生活体験

警察署、消防署、市役所、郵便局などの公共施設等を訪問し、そこで働く方々から仕事内容の説明を受ける社会見学や、学校、老人ホーム等で日本文化を紹介する文化交換会、工場や農場見学やボランティア活動等、様々な経験をします。

☐ 家庭生活体験

日中の活動が終了すると、参加者はホストファミリーの家に帰り、翌日学校が始まるまで、家庭でそれぞれの時間を過ごします。この家庭での時間にホストファミリーは、参加者に特別なことを計画しているわけではありません。参加者をゲストとして特別扱いせず、普段通りの生活を送るだけです。ですから、ホストファミリーとの家庭生活に多くのものを期待することは禁物です。ホストファミリーは、純粋な博愛精神で皆さんを受け入れており、参加者に対して様々な場所に連れて行くという義務は一切負っていません。また、家庭内での食事や宿泊の提供も、彼らの好意によるものであり、義務ではありません。もし、「ホストファミリーが〜してくれない」という彼らへの不満や苦情があるとすれば、それらはお客様意識や家庭に受け入れてくださる寛大な気持ちに対する理解や認識不足、また、ホストファミリーの比較によって生まれるものです。彼らの善意に応えるよう常に感謝の気持ちを持って、常に「彼らのために何ができるか」ということを念頭に入れながら、責任ある行動を心がけましょう。

☐ ランチタイム

授業が終わって、正午から午後1時まで昼食となります。毎日の昼食はホストファミリー宅から弁当を持参します。日本のお弁当とは異なり、サンドウィッチや果物、飲物、スナック類がアメリカの昼食となります。

☐ 終日研修

終日の社会見学があり、滞在地近郊の名所旧跡や景勝地や有名観光地を訪れます。この日は授業や午後の活動はありません。

☐ ティーチャーコーディネーター（TC）

ティーチャーコーディネーター（TC）と呼ばれる米国人コーディネーターが、各種活動の企画や手配、現地学校との連絡等を行います。ホストファミリーの募集と決定も、TCが中心となって行います。問題が発生した際には、日本人の引率指導者と共に問題解決に尽力していただきます。

☐ 引率指導者

日本を出発し帰国するまで、参加者の指導にあたります。参加者と同じステイ地に滞在し、基本的に、期間中に企画された活動の全行程に同行します。

☐ ウェルカムパーティーとサヨナラパーティー

ウェルカムパーティーは、ホストファミリーとTCが中心となって行われます。ゲームをしたり、歓談したり、他のホストファミリーと交流を深める場でもあります。そこでどういう過ごし方をするのか、どのようにふるまうべきか、アメリカ式パーティーのあり方を学んでください。サヨナラパーティーは、参加者と引率指導者が中心となり、お世話になったホストファミリーやTCに対して感謝の意味を込めて行うものです。歌や踊りや特技等を披露し、みんなが一丸となって成功させましょう。

スケジュール表

月 日	活 動 内 容
1 日 目	日本出発。時差の関係で、日本出発日と米国到着日が同日。TCが空港で出迎え、バスでステイ地へ。ファミリーと対面し、夕刻からウェルカムパーティー。たくさんの人に自ら声かけをし、友達を作ろう!!
2 日 目	午前は英語を使った授業。日常生活で使う簡単な会話の表現、俗語や慣用句について学ぶ。午後は消防署や警察署を訪問し、アメリカで働く人からの話を聞く。
3・4 日 目	ファミリーと週末を一緒に過ごす。期間中唯一の週末なので、ファミリーに日本料理を作ったり、手伝いをしたり、日本のことを教えたりして、ファミリーのために何ができるかを考えて時間を過ごそう。
5 日 目	午前は英語を使った授業。アメリカの祝祭日について学ぶ。午後は感謝祭やクリスマスなどアメリカの代表的な行事を疑似体験する。日本の祝祭日や行事も紹介して、お互いの文化交換をする。
6 日 目	シアトルへ終日研修。ワシントン大学やスペースニードル、パイクプレイスマーケットなどを見学。世界的な観光地であるシアトルの魅力を堪能する。
7 日 目	午前は英語を使った授業。アメリカの家族、家庭生活について学ぶ。午後は、老人ホームを訪問。習字や折り紙などを披露したり、日本の歌を歌ったり、日本のことを紹介したりして、文化交流を行う。
8 日 目	午前は最後の授業。アメリカで学んだことを振り返って、英文を書いたり、ホストファミリーに渡すギフトを作る。午後はさよならパーティーの準備。夕刻はホストファミリーを招いてさよならパーティー。特技披露や合唱などの発表をして、お世話になったホストファミリーやTCに感謝の気持ちを伝える。
9 日 目	帰国日。ホストファミリーとアカデミックセンターで別れてバスで空港へ。TCとは空港でお別れ。
10 日 目	日本到着。入国手続き後、国内線に乗り継ぎ各県へ。着後解散。帰国後は、ファミリーに無事に着いた旨とお礼の手紙を書くのを忘れないようにしましょう!!

※このスケジュールは、大体のひな形です。実際のスケジュールは、事前研修会（オリエンテーション）までにお渡しします。

申 込 方 法

◆ 申込方法

お申し込みには「参加申込書」と「参加申込金」の2点が必要です。

◆参加申込書 資料編巻末の申込書にご記入ください。

◆参加申込金 5万円（研修費用の一部に充当します。）

以上の2点を南日本カルチャーセンターに現金書留でご郵送ください。申込金は銀行振り込みでも構いません。到着次第、ガイドブックと手続書類一式をお送りします。

◆ 申込先及び振込先

◆ 申込先

〒890-0056 鹿児島市下荒田3丁目16番19号

株式会社 南日本カルチャーセンター

◆ 振込先

三井住友銀行 鹿児島支店 普通口座 828282

肥後銀行 鹿児島支店 普通口座 1055554

南日本銀行 本店 普通口座 230800

鹿児島銀行 鴨池支店 普通口座 3138706

沖縄銀行 本店 普通口座 1278721

郵便振替口座 02010-8-32878

◆ 口座名 (株)南日本(ミナミニホン)カルチャーセンター

※必ず参加者名で送金してください。

※残金は2月20日までに支払ってください。

◆ 参加取消し

参加者のご都合によりお取消しになる場合は、次の取消料をお支払い頂きます。

2月14日から2月24日まで	研修費用の10%
2月25日から起算して研修開始3日前まで	研修費用の20%
研修開始日の前々日より研修開始日当日	研修費用の50%
研修開始後以降、又は無連絡不参加	研修費用の全額



春のアカデミックホームステイに参加して

今回のホームステイを通して、一番学ぶことができたのは、人との関わりについてだ。元々人と話すことが大好きな私だが、母国語の通じない所で、自分の力で人と関わらなければならぬという状況に置かれ、とても不安になった。しかし、9日間を経て、相手の気持ちがわかるぐらいまで成長することができた。ジェスチャーは一種の言語だと感じたし、あらゆる状況の中でどれだけ具体例を出せるかも、異言語の人と会話する時は重要であると思った。また、自分の夢について再確認できる機会にもなった。この経験から、学び・受けたことを将来に生かしていきたいと思う。

鹿児島県志学館高等部2年 田上 華

今回のホームステイを通して、印象に残ったことが2つある。1つは、色々な物のサイズが日本より大きいことだ。特にアメリカのSサイズのドリンクは、日本のLサイズとほぼ同じ大きさだった。2つは、アメリカ人の優しさだ。アメリカに到着した日、ホストブラザーと高校のジムで一緒に遊び、数人の高校生と友達になった。初対面にも関わらず、気軽に話しかけてくれた高校生のフレンドリーさに、驚きと感動で胸一杯だった。今回の経験のおかげで、アメリカと英語がより一層好きになった。高校卒業までに、英語をネイティブレベルにし、今回出会った人に再び会いに行きたい。

鹿児島県甲南高等学校1年 日高雅友

「もっと早く参加すればよかった」と思うほど、私にとってこの約10日間は実りのあるものでした。私は人に話しかけることが苦手です。まして、英語で話しかけるなんて、到底無理のように思えました。でも優しいホストファミリーに支えられて、段々と頭で文節を並べる前に、口からスラスラ出るようになりました。その後は、英語で映画を見れるようになったり、買い物で一人できるようになったりと、自分なりに成長できました。今後は家族への感謝の気持ちと、この10日間で培った自立の精神を心に留めて、日常生活に生かしていきたいです。

鹿児島県鶴丸高等学校1年 水迫花菜

今回初めてのホームステイだったので、僕は緊張していました。しかし、約1週間自分の好きな英語で会話や勉強ができるので、わくわくもしていました。僕はホームステイで、特にアメリカの文化について学びました。アメリカの食事は、特別な行事以外、日本よりも簡単であることや、ホストファミリーの冷蔵庫を勝手に開けてよいことが分かりました。期間中に行った老人ホームでは、お年寄りの方々と一緒に折り紙をしたり、けん玉やダンスを披露したりしました。自分に関する話がたくさんできて、楽しい1日でした。初めてのホームステイでしたが、とても楽しかったです。

宮崎県宮崎西高等学校附属中1年 近間悠太

参加する前は、会ったことのない人達と母国語が通じないアメリカで過ごすということで、楽しみより不安や心配がありました。スマホが使えないことも心配でしたが、実際は全く必要なく楽しく充実していました。アメリカの中学校は日本と違い、例えば自分の教室がなく、毎回移動教室であることや、授業中の生徒の自主性を大事にしていることに驚きました。期間中ホストファミリーへの恩返しとして、カレーを作ったら喜んでくれたので、嬉しかったです。普通に暮らしていたら、こんな貴重な体験は絶対にできなかったと思うので、今回参加できて本当に良かったです。

鹿児島県南種子中学校1年 青山晃太

最初は、「英語が通じるかな」、「お母さんがいなくても大丈夫かな」と不安でしたが、そんな気持ちを全て忘れるくらい本当に楽しくて充実した10日間でした。ホストファミリーと過ごす中で、英語が難しくても、相手に伝えたいという気持ちさえあれば、身ぶり手ぶり、あの手この手で対話できると気づきました。行きは機内食を頼むのに苦戦したけど、帰りは楽勝でした。そして、感謝を口に出して伝えることが大切だと改めて思いました。ホストファミリーが運転してくれたり、ランチを作ってくれたりした度に、Thank youと言うようにしました。この10日間のことは決して忘れません。一生の宝物です。

鹿児島県鹿児島大学教育学部附属中学校1年 上大迫美伶